

2024年3月期 通期決算補足資料

株式会社IMAGICA GROUP
証券コード：6879

2024年5月9日



決算ハイライト

- 3期連続で増益、売上高、営業利益は上場来最高値を更新

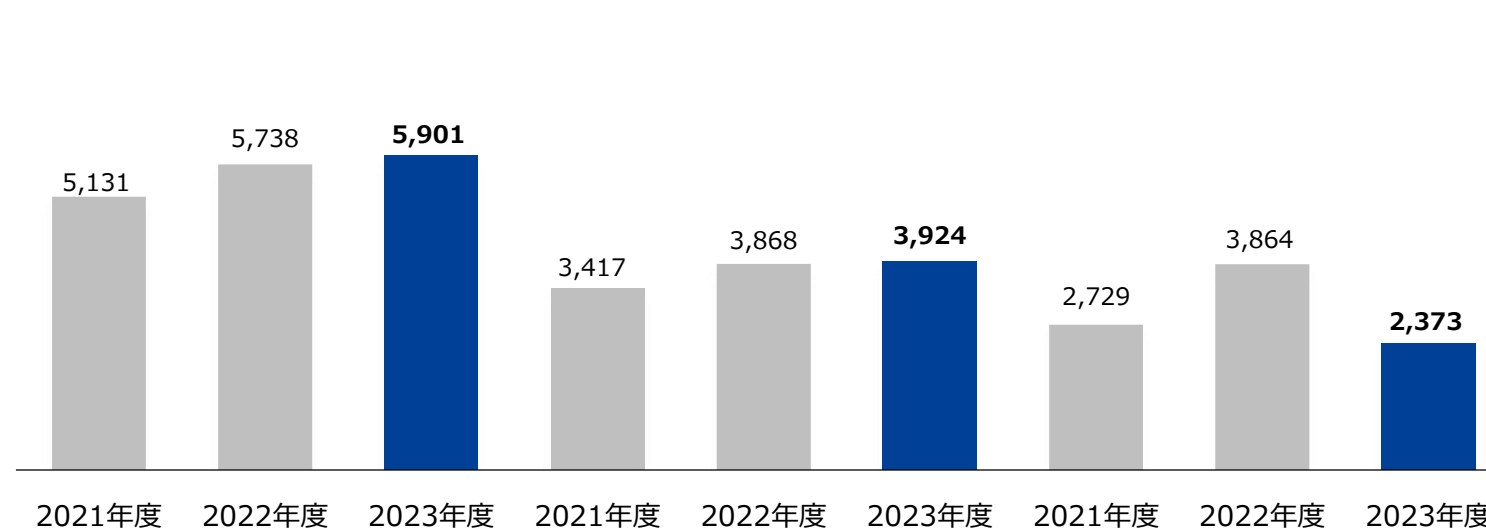
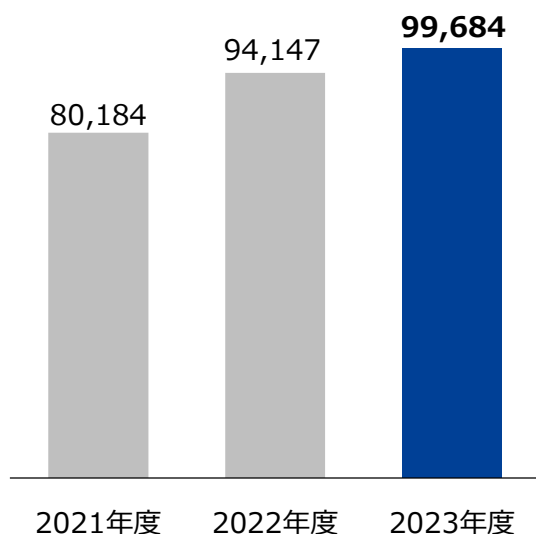
(百万円)

売上高
99,684
前年増減額
+5,537 (+5.9%)

営業利益
(のれん等償却前)
5,901
前年増減額
+163 (+2.8%)

営業利益
3,924
前年増減額
+55 (+1.4%)

親会社株主に帰属
する当期純利益
2,373
前年増減額
△1,491 (△38.6%)



セグメント別実績

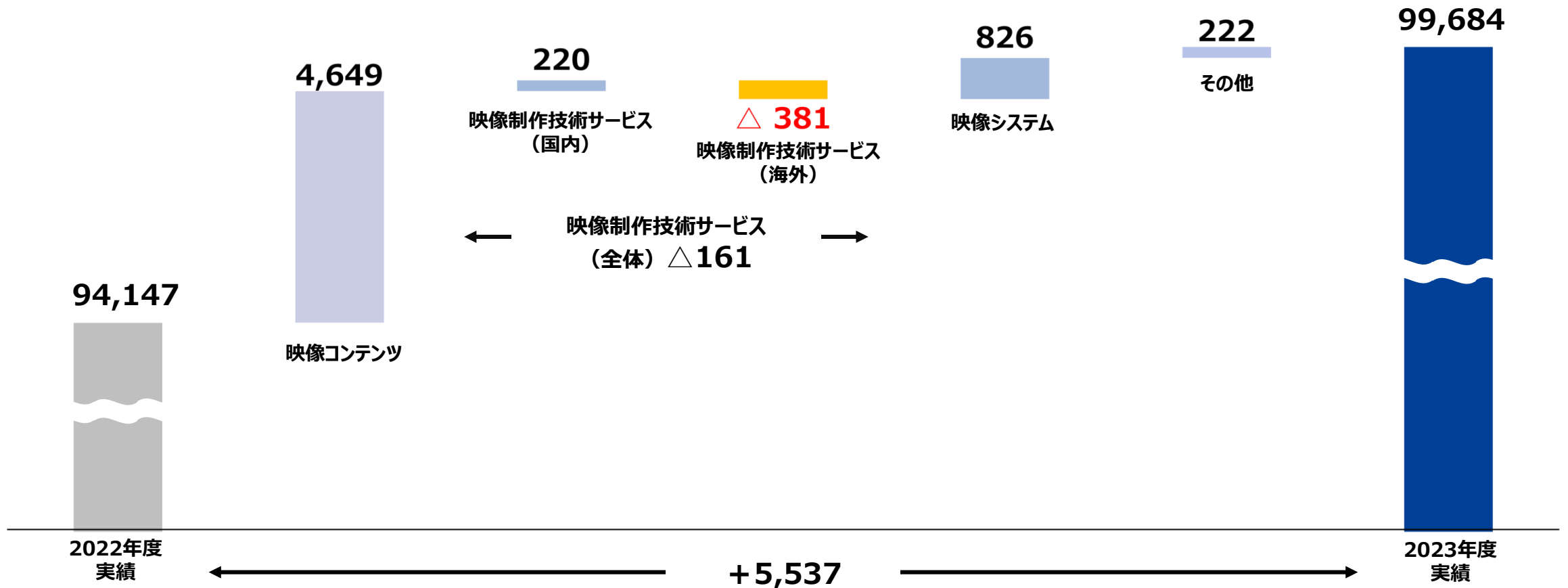
- 映像制作技術サービスは見通し下回るも、映像コンテンツと映像システムが上回り、連結で見通し水準達成

(百万円)	2022年度		2023年度		前年増減額	
	実績	見通し	実績	見通し増減額		
映像コンテンツ	売上高	23,537	26,000	28,186	2,186	4,649
	営業利益 (のれん等償却前)	540	1,000	1,281	281	741
	営業利益	535	1,000	1,276	276	740
映像制作技術サービス	売上高	54,128	57,000	53,967	△3,033	△161
	営業利益 (のれん等償却前)	4,361	3,900	3,367	△533	△994
	営業利益	2,532	2,000	1,430	△570	△1,102
映像システム	売上高	18,930	20,000	19,756	△244	826
	営業利益 (のれん等償却前)	2,122	2,200	2,440	240	317
	営業利益	2,086	2,200	2,404	204	317
その他 (連結消去)	売上高	△2,448	△ 3,000	△ 2,225	775	222
	営業損失	△1,286	△ 1,200	△ 1,187	13	98
連結合計	売上高	94,147	100,000	99,684	△316	5,537
	営業利益 (のれん等償却前)	5,738	5,900	5,901	1	163
	営業利益	3,868	4,000	3,924	△76	55

売上高 増減分析（前年差）

- 映像制作技術サービス（海外）が減収も、映像コンテンツ中心に増収

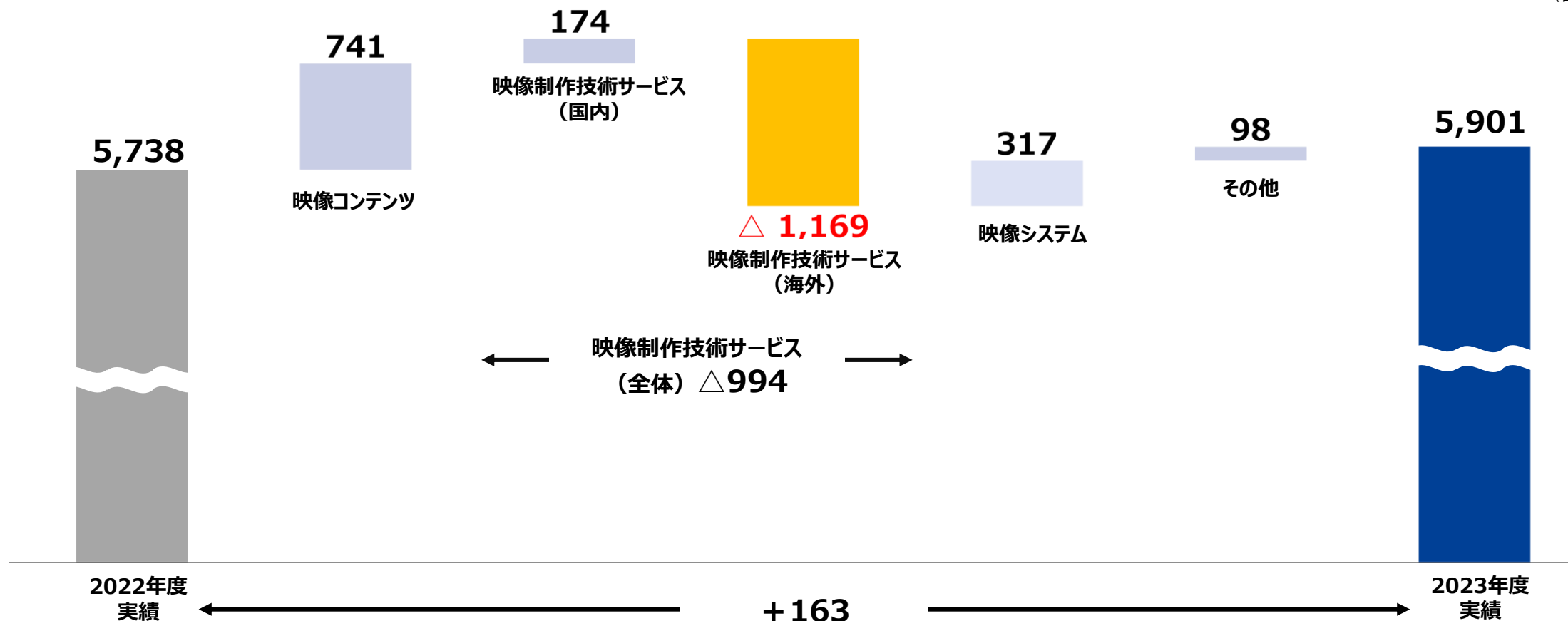
(百万円)



営業利益（のれん等償却前） 増減分析（前年差）

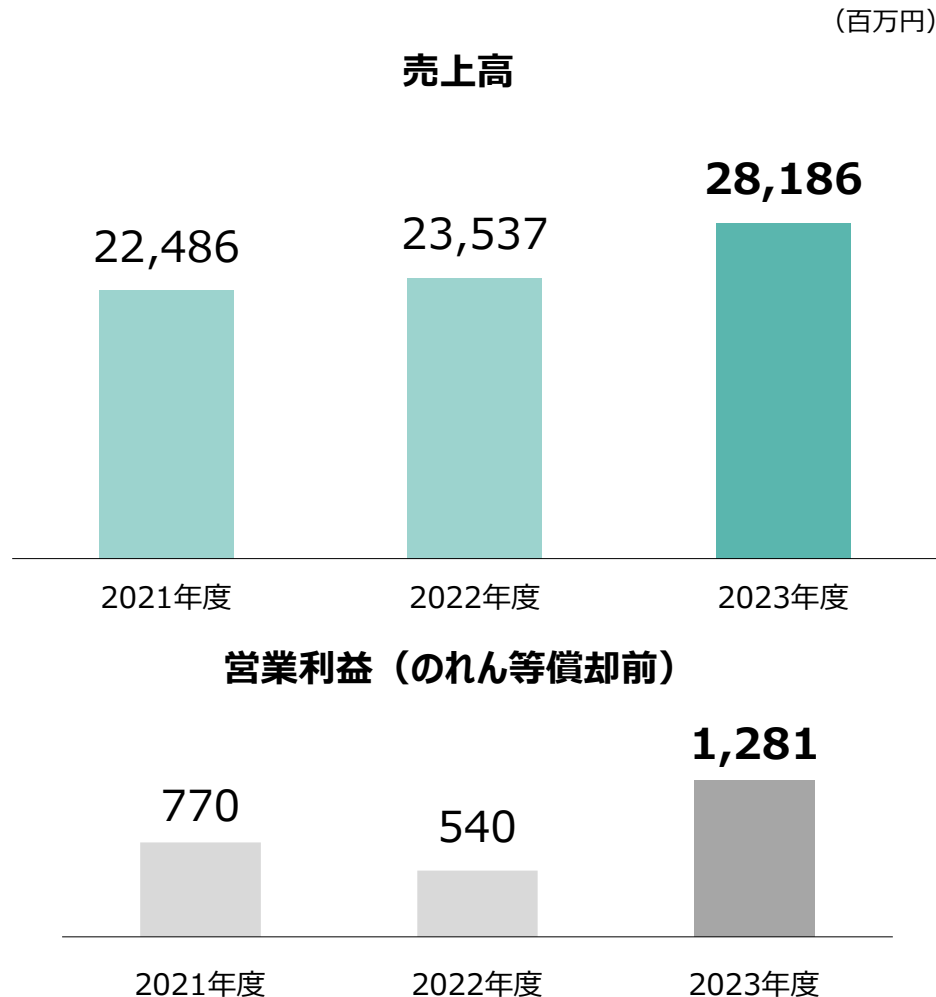
- 映像制作技術サービス（海外）が減益も、映像コンテンツ中心に増益

(百万円)



映像コンテンツ事業

- ・ 劇場映画・動画配信向けの大型作品計上、アニメーション制作、出版の好調により増収増益



増収増益

売上高	+4,649 (+19.8%)
営業利益 (のれん等償却前)	+741 (+137.2%)

映画・ドラマ作品

- 劇場映画・動画配信向け大型作品などの計上により増収
- ・ 劇場映画 「ゴジラ-1.0」「岸辺露伴 ルーヴルへ行く」
 - ・ 動画配信 「ゾン100～ゾンビになるまでにしたい100のこと～」 「幽☆遊☆白書」

アニメーション制作

CGアニメーション、TVシリーズの受注好調で大幅増収

出版

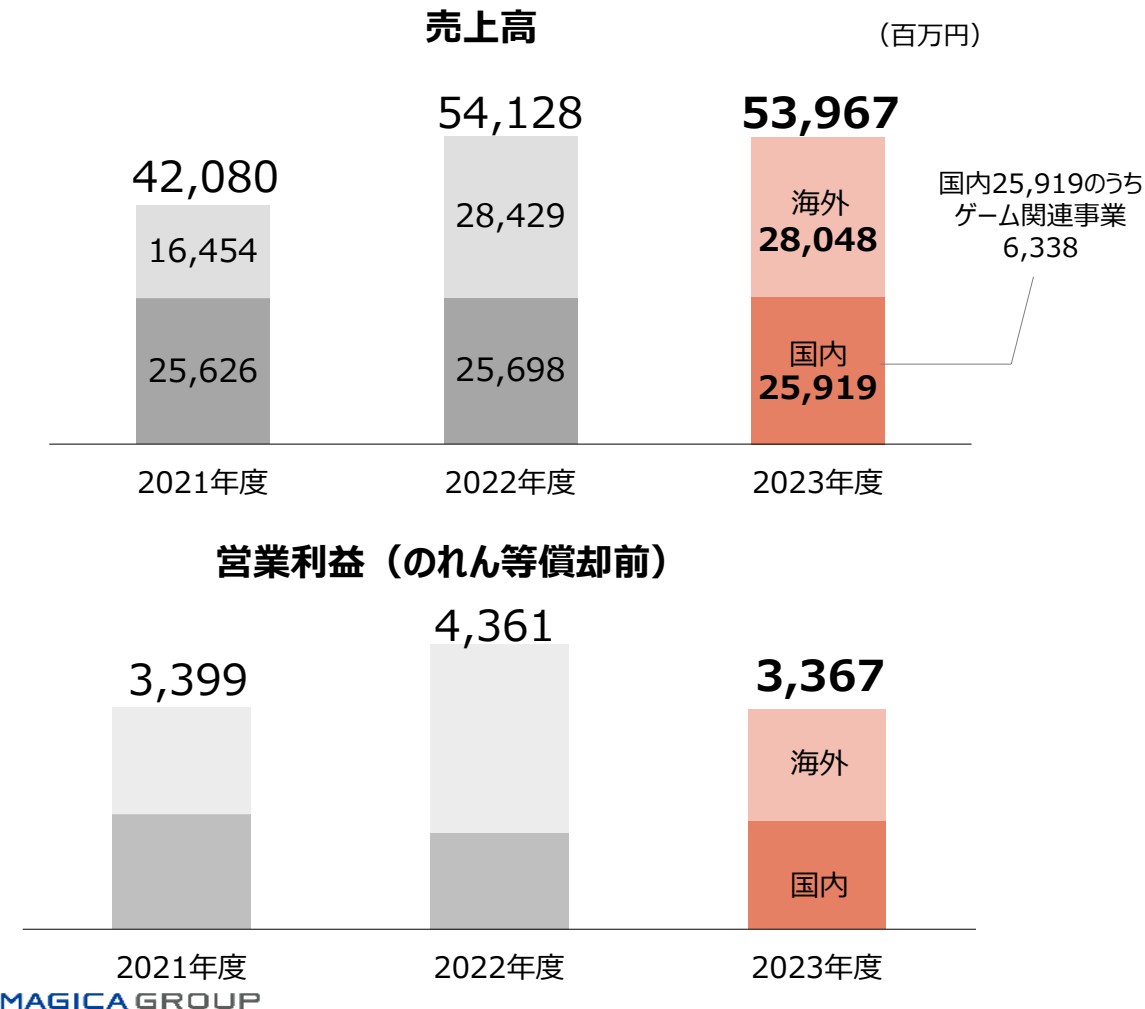
「薬屋のひとりごと」のライトノベルなど、書籍販売で大幅増収

CM制作

TV向けは低調も、Web向けは好調に推移

映像制作技術サービス事業*

- 国内外のデジタルシネマ向けサービス*は伸長するも、海外がローカライズ減収及び設備投資拡大に伴う減価償却費などの増加により、減収減益



減収減益

売上高	△161 (△0.3%)
営業利益 (のれん等償却前)	△994 (△22.8%)

E2Eサービス* (国内)

デジタルシネマ向けサービスなどが堅調により増収

E2Eサービス* (海外)

- 米国ハリウッドの脚本家・俳優組合のストライキ長期化による新作の遅れなどでローカライズが減収減益
- 設備投資拡大に伴う減価償却費などが増加

ゲーム関連事業

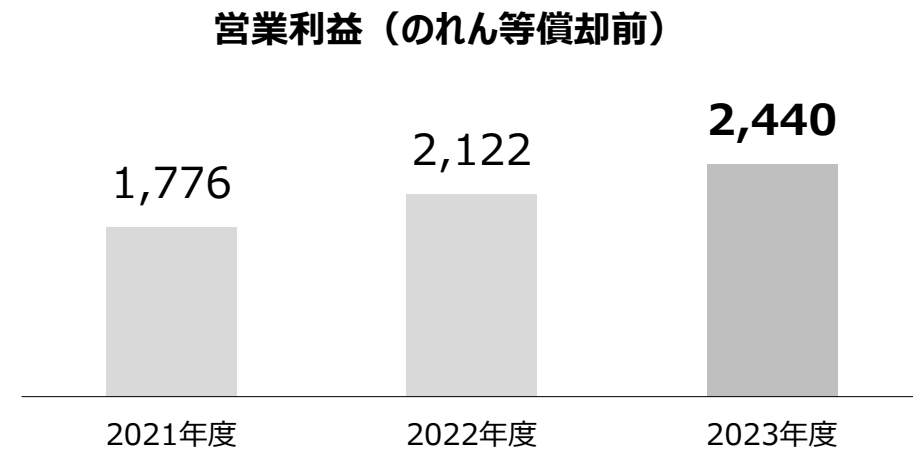
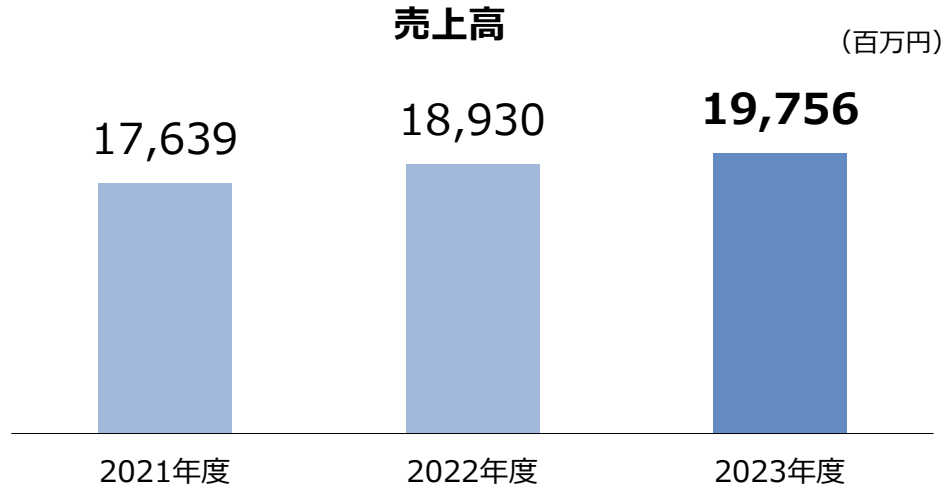
3DCG制作の受注増などにより増収

TV向けポストプロダクションサービス

動画コンテンツの多様化等による市場変化により、減収

映像システム事業

- ・ハイスピードカメラが年間出荷台数の過去最高を更新し大幅増収、映像・画像処理LSIは市場環境の回復遅れにより減収



増収増益

売上高	+826 (+4.4%)
営業利益 (のれん等償却前)	+317 (+15.0%)

ハイスピードカメラ

部品不足が解消され、特に海外向けの受注が好調
年間の製品出荷台数が過去最高を更新し大幅増収

放送映像システム

案件の受注が低調で減収もコスト構造の見直しにより増益

映像・画像処理LSI

市況回復の遅れなどにより減収

2024年度 通期業績予想

- 2023年度の大型作品計上の反動、連結子会社売却、米国ハリウッドストライキの影響を織り込み

(百万円)	2023年度		2024年度	
	実績	業績予想	前年増減額	前年比率
売上高	99,684	98,000	△ 1,684	△1.6%
営業利益 (のれん等償却前)	5,901	5,800	△ 101	△1.7%
(利益率)	5.9%	5.9%		
営業利益	3,924	3,700	△ 224	△5.7%
(利益率)	3.9%	3.8%		
経常利益	3,727	3,200	△ 527	△14.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,373	2,000	△ 373	△15.7%
1株当たり当期純利益 (円)	53.57	45.25	△ 8.3	△15.5%
1株当たり配当金 (円)	15.0	15.0	0.0	0.0%

期末配当予想について

配当方針

当社グループは、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要事項のひとつと位置づけております。配当につきましては、連結業績に応じた利益配分を基本としたうえで、連結配当性向の目標を30%とし、安定した配当の維持と配当水準の向上を目指しております。

なお、特別な損益等の特殊要因が当期純利益に大きく影響を与える場合は、配当の決定にあたり、基本的に特殊要因を考慮した配当性向を踏まえ、株主様への安定的な配当と今後の事業展開や内部留保の状況などを総合的に勘案し決定いたしております。

上記方針に基づき、2024年度の配当（期末配当金）については、1株当たり15円の予定といたします。

	親会社に帰属する 当期純利益	1株当たり当期純利益	配当予想	配当性向
2024年度（予想）	2,000百万円	45.25円	15.0円	33.2%

注記

*映像制作技術サービス事業

当1Qより従来の「映像制作サービス事業」から「映像制作技術サービス事業」へ変更しております。
当該変更はセグメント名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。

*デジタルシネマ向けサービス

劇場にてデジタル上映を行うためのDCP(Digital Cinema Package) 作成やDCPデリバリー、KDM(Key Delivery Messageの略で、DCPの暗号を解除するための鍵)配信等のサービスを指します。

*E2E向けサービス

End to End。映画・ドラマ・アニメーション等の映像コンテンツを制作するポストプロダクションから、それらを劇場、テレビ、インターネットを介した動画配信などあらゆるメディアで流通させるために必要なローカライズ(吹替、字幕制作)、ディストリビューション(流通)のためのメディアサービスまでをワンストップで提供するサービスの総称を指します。

Appendix.

基本戦略と事業セグメント別 サービス・売上高

売上高 (2024年度 実績)	映像コンテンツ事業	映像制作技術サービス事業	映像システム事業	戦略合計
1 グローバルに事業領域を拡大		ローカライゼーション（字幕・吹替） ディストリビューションなど 365 億円		365 億円
2 新たなライブエンタテインメント ビジネスの確立	音楽ライブの演出、 ライブビューイング、メタバースなど 37 億円		スポーツイベント中継・アーカイブなど 15 億円	52 億円
3 映像システムにおいて 新たな価値を創造			ハイスピードカメラ・放送映像システム 光学計測・映像/画像処理LSIなど 214 億円	214 億円
4 ゲーム関連事業の拡大		2D・3DCG制作、品質検証など 63 億円		63 億円
5 事業変革の完遂	映画・ドラマ・アニメ制作・出版など 263 億円	TV・CM向け編集、人材サービスなど 128 億円		392 億円
セグメント合計	281 億円	539 億円	197 億円	996 億円

※戦略ごとの合計には連結調整を含む消去などが含まれていないため、セグメント合計とは一致しません。

連結損益計算書

(百万円)	2022年度 実績	2023年度 実績	前年増減額	前年増減比
売上高	94,147	99,684	5,537	5.9%
売上総利益	26,723	28,587	1,863	7.0%
(売上総利益率)	28.4%	28.7%		
営業利益	3,868	3,924	55	1.4%
(営業利益率)	4.1%	3.9%		
経常利益	3,638	3,727	89	2.5%
(経常利益率)	3.9%	3.7%		
特別利益	5,327	888	△ 4,439	△ 83.3%
特別損失	1,445	216	△ 1,229	△ 85.0%
税金等調整前当期純利益	7,519	4,399	△ 3,120	△ 41.5%
親会社株主に帰属する当期純利益	3,864	2,373	△ 1,491	△ 38.6%
EBITDA	7,993	8,520	526	6.6%
(参考)営業利益 (のれん等償却前)	5,738	5,901	163	2.8%

※EBITDA = 営業利益 + のれん償却 + 商標権他無形固定資産償却 + 減価償却費

※営業利益 (のれん等償却前) = 営業利益 + のれん償却 + 商標権他無形固定資産償却

連結貸借対照表

(百万円)	2022年度 実績	2023年度 実績	増減額	主な増減要因
資産の部				
流動資産	44,970	41,288	△ 3,682	売掛金 △1,273
うち現預金	7,813	5,242	△ 2,571	
固定資産	36,917	37,405	488	
うちのれん	11,780	12,045	265	
資産合計	81,888	78,694	△ 3,193	
負債・純資産の部				
流動負債	33,205	28,950	△ 4,254	契約負債△2,705
うち短期借入金	6,432	5,143	△ 1,289	
固定負債	8,378	9,837	1,458	
うち長期借入金	1,366	3,120	1,753	
負債合計	41,584	38,788	△ 2,796	
株主資本	33,150	33,731	580	
その他包括利益累計額	2,956	4,097	1,141	
非支配株主持分	4,197	2,077	△ 2,119	連結子会社の分配（配当）
純資産合計	40,303	39,906	△ 397	
負債純資産合計	81,888	78,694	△ 3,193	
ネット資金	14	△ 3,021	△ 3,035	（現預金－長短期借入金）

連結キャッシュ・フロー計算書

(百万円)	2022年度 実績	2023年度 実績
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,109	5,730
内 税金等調整前当期純利益	7,519	4,399
減価償却費	2,596	2,941
のれん償却額	1,558	1,655
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	△ 2,179	1,928
棚卸資産の増減額 (△は増加)	1,172	1,007
仕入債務の増減額 (△は減少)	△ 2,007	△ 523
契約負債の増減額 (△は減少)	△ 876	△ 2,668
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,380	△ 4,461
内 有形固定資産の取得による支出	△ 2,853	△ 2,291
無形固定資産の取得による支出	△ 655	△ 781
投資有価証券の売却による収入	1,642	321
関係会社株式の取得による支出	△ 215	△ 1,289
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,585	△ 4,117
内 短期借入金の純増減額	280	△ 272
長期借入金の純増減額	△ 1,334	431
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△ 442	△ 1,522
非支配株主への分配金の支払額	-	△ 1,379

事業セグメント別 連結子会社一覧（2024年3月末現在）

*：海外子会社

映像コンテンツ事業

連結子会社：9社

株式会社ロボット

株式会社ピクス

株式会社オー・エル・エム

株式会社オー・エル・エム・デジタル

株式会社オー・エル・エム・ベンチャーズ

株式会社イマジカインフォス

株式会社IMAGICA EEX

映像制作技術サービス事業

連結子会社：20社

株式会社IMAGICAエンタテインメントメディアサービス

株式会社シネマコネク

Pixelologic Holdings LLC*

PPC Creative Limited*

株式会社IMAGICA Lab.

株式会社コスモ・スペース

株式会社ウエザーマップ

株式会社IMAGICA GEEQ

映像システム事業

連結子会社：9社

株式会社フォトロン

フォトロン M&E ソリューションズ株式会社

PHOTRON USA, INC. *

PHOTRON EUROPE LIMITED*

アイチップス・テクノロジー株式会社

株式会社 IP モーション

株式会社フォトニククラティス

「ライトアニメ」とは

▶イマジカインフォス、大日本印刷と「ライトアニメ」共同事業のための業務協約を締結（2023年12月22日）

漫画（モノクロ・カラー問わず）素材を活用し、低価格・短納期でアニメ化し、フルアニメにかかるコストの10分の1のコストでアニメを制作可能にする手法および作品の呼称で、2022年に大日本印刷が展開。アニメ市場の規模が拡大傾向にある中、「手軽に、迅速に、そして多様な」アニメ作品を楽しみたいというニーズにこたえるため、2社が業務協約を締結。



ハイスピードカメラが過去最高の出荷台数を記録

フォトロンが主力製品である「ハイスピードカメラ」が、前年度の部品不足が解消と海外の各エリア共に受注が堅調であったことから、年間の製品出荷台数が過去最高を達成。

フォトロンのハイスピードカメラは、1991年の発売から今日に至るまで、世界40か国以上の最先端研究開発機関で活用されており、製品の開発から製造、販売、サポートまで全てをフォトロンで行っております。

エリア別出荷台数比率

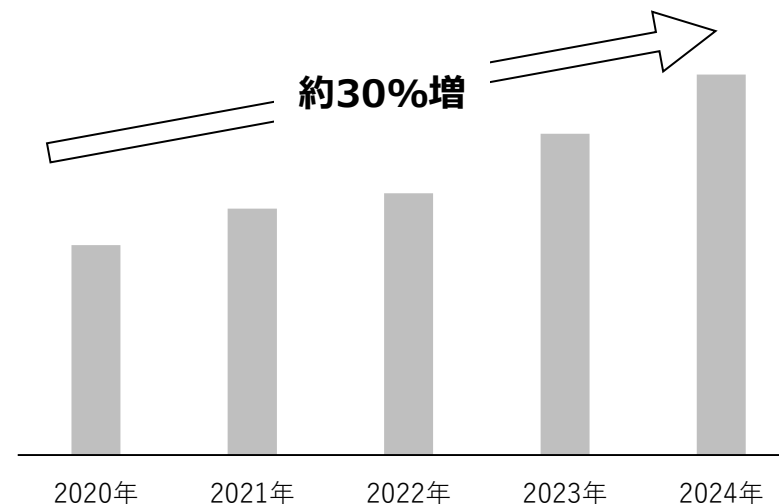


車載用ハイスピードカメラ FASTCAM MH6



研究開発用ハイスピードカメラ FASTCAM Nova

年間販売台数の推移



[▶株式会社フォトロン | ハイスピードカメラ・画像計測](#)

2024年度 作品情報・実績情報



P.I.C.S.企画・原作・制作
ドラマ「RoOT / ルート」
 4月2日よりテレ東ほかにて放送開始
 Netflixにて独占配信中

©P.I.C.S.・此元和津也 / RoOT製作委員会



ロボット制作
映画「陰陽師0」
 4月19日公開

©2024映画「陰陽師0」製作委員会



NHKドラマ
『岸辺露伴は動かない』第9話「密漁海岸」
 P.I.C.S.制作／NHKドラマ『岸辺露伴は動かない』
 の最新話、第9話「密漁海岸」が5月に放送決定。

© LUCKY LAND COMMUNICATIONS/集英社
 ©NHK/NEP/P.I.C.S.



インフォス×大日本印刷 ライトアニメ第一弾
「まあい彼女と残念な彼氏」
 6月より
 地上波放送決定

©Izumi Hayama・Yachiyo Okamura・una toon studio/LDF/「まるカノ」製作委員会

IMAGICA GROUP



ロボット制作
映画「言えない秘密」
 6月28日公開

©2024「言えない秘密」製作委員会



イマジカインフォス原作
TVアニメ「薬屋のひとりごと」第2期
2025年放送決定

©日向夏・イマジカインフォス/「薬屋のひとりごと」製作委員会

©Copyright IMAGICA GROUP Inc.

お知らせ

公式サイト 事業紹介ページ リニューアル

IMAGICA GROUPは主に、「エンタテインメント分野」と「産業分野」の2つの分野にて事業を展開しています。リニューアルページでは、各事業で提供しているサービスや製品などを実績と共に紹介しています。

[▶IMAGICA GROUP事業紹介ページ](#)



IMAGICA GROUP 公式noteを開設

公式サイトでは伝えきれなかった事業の魅力や舞台裏、それらに携わる経営者や社員の想いなどをお届けしてまいります。

[▶IMAGICA GROUP 公式note](#)

note



イマジカインフォス発行「薬屋のひとりごと」とJR東海「押し旅」コラボ企画『薬屋、奈良のたび』開催中（～6月30日まで）

[▶JR東海×薬屋のひとりごと 薬屋、奈良のたび | 押し旅公式サイト |](#)

押し旅



©日向夏/イマジカインフォス イラスト：しのとうこ

IMAGICAエンタテインメントメディアサービスが、「色の技術」に関する取り組み「Color by IMAGICA」特集ページを公開

特集ページでは、“Color by IMAGICA”の目的や、具体的な取り組みの紹介として作品を担当したカリストの視点で執筆した記事を掲載しています。

[▶Color by IMAGICA 特集ページ](#)



経営理念

私たちは、誠実な精神をもって新たな価値創造につとめ、
世界の人々に「驚きと感動」を与える
映像コミュニケーショングループを目指します。



会社名	株式会社IMAGICA GROUP
代表者	代表取締役社長 社長執行役員 長瀬 俊二郎
設立	1974年6月10日（創立：1935年2月18日）
本社	〒105-0022 東京都港区海岸一丁目14番2号
連結子会社	37社（2024年4月1日現在）
資本金	33億6百万円
事業内容	映像コンテンツ事業、映像制作技術サービス事業、映像システム事業等を営むグループ会社の事業の統括
従業員数	5,447名（うち臨時雇用者1,255名 2024年3月末）
連結売上高	996億84百万円（2024年3月期）

お問い合わせ先

株式会社IMAGICA GROUP

グループ経営管理部

Email : ir@imagicagroup.co.jp

URL : <https://www.imagicagroup.co.jp/>

note: <https://www.note.imagicagroup.co.jp/>

X : <https://twitter.com/IMAGICAGROUP>

【将来予測について】

本資料に記載されている当期ならびに将来の業績に関する予想、計画、見通し等は、現在入手可能な情報に基づき算定しており、判断や仮定に内在する不確実性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、実際の業績等が見通しの数値と異なる結果となり得ることをご承知おきください。